



議会だより

No. 121

令和元年7月
発行/鳥取県日野町議会

- 令和元年、新議会がスタート
- 5月臨時議会
 - ・ 議会新組織の決定
- 新体制6月定例議会開催
 - ・ 一般会計補正予算
 - ・ 人事案件の同意

元気です、舟場自治会運動会

孫と一緒に、めざせ世界一

議員活動の抱負

議員名	当選回数	私の思い
竹永 明文	8	対話・行動で夢のある町づくりを目指します。
佐々木 求	7	正義・誠実に全力で頑張りたい。改めて決意しています。
安達 幸博	6	安心して暮らせるまちづくりを推進します。
小谷 博徳	5	住民との距離をなくし開かれた議会を目指す。
中原 信男	3	町民福祉向上の為、全力で頑張ります。
松尾 信孝	2	議員の成り手不足の問題の解決に取り組みます。
金川 守仁	2	「知・即・行」知ったらすぐ行動する事を実行します。
山形 克彦	2	小さくても安心して暮らせるまちづくりを目指します。
梅林 敏彦	1	日野町に夢を！行動する町議会議員を目指します。
中山 法貴	1	若い力で日野町に新しい風を。

新しい議会構成

議長	小谷 博徳	鳥取県西部広域行政管理組合議会 後期高齢者医療広域連合会議会					
副議長	中原 信男						
組織等・委員会	委員会等（組織）	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
	議会運営委員会	竹永明文	安達幸博	佐々木求	中原信男	松尾信孝	
常任委員会	総務経済常任委員会	松尾信孝	安達幸博	小谷博徳	金川守仁	梅林敏彦	
	教育民生常任委員会	佐々木求	中山法貴	竹永明文	中原信男	山形克彦	
	議会広報常任委員会	金川守仁	梅林敏彦	佐々木求	中原信男	松尾信孝	中山法貴
特別委員会	議会改革推進特別委員会	竹永明文	安達幸博	議員 全員			
	日野町消防委員会			金川守仁	梅林敏彦	中山法貴	
	日野町社会福祉協議会 評議員			松尾信孝	梅林敏彦		
	監査委員			山形克彦			
	奥日野土地開発公社理事			安達幸博	小谷博徳	松尾信孝	
	奥日野土地開発公社監事			金川守仁	梅林敏彦		
	町道等再編成調査委員会			安達幸博	松尾信孝	梅林敏彦	
一部事務組合 日野町選出議員		議長	副議長	議員	議員	議員	
	日野病院組合議会	小谷博徳	中原信男	佐々木求	安達幸博	松尾信孝	
	日野町江府町日南町衛生施設組合議会	竹永明文		金川守仁	中山法貴		

新元号と共に新しい議会がスタート！

この度、議員の皆様方のご支援により議長に就任いたしました。
目指す議会は、真の町民の代弁者となりうる議会
形成であります。

具体的には、
一、出かける議会により、皆様方の声を直接聞き、
政策提案してゆく。
二、町民の皆様にも、何らかの形で議会を身近に感
じていただく。
これらを継続的に実施することで、町民の皆様と
議会との信頼関係の醸成へつなげていきたいと思
います。
議会も議会改革特別推進委員会を作り、全方向よ
り議会の在り方を協議し、負託にこたえたいと考
えています。今後ともよろしくお願いいたします。



議長 小谷 博徳



副議長 中原 信男

日野町議会議員紹介

議長、副議長を中心に10人の議員が一丸となり、「住民の皆様が安全・安心に暮らせる町づくり」にかかわり、これからの4年間、日野町が進むべき方向性をしっかりと定めて活動させていただきます。



中山 法貴 梅林 敏彦 松尾 信孝 佐々木 求 中原 信男 小谷 博徳 竹永 明文 安達 幸博 山形 克彦 金川 守仁

議会運営委員会

開かれた議会運営を目指して

委員長 竹永 明文

委員会では、議会の会期など議会運営に関する事項及び議会の活性化について、次のことにつき調査及び審査を行います。

- 一、議会の運営に関する事項
- 二、議会の会議規則及び委員会条例の遵守
- 三、議長の諮問に関する事項

総務経済常任委員会

町の課題を政策につなげます

委員長 松尾 信孝

総務経済常任委員会の所管は多岐にわたっています。町内の農林畜産業、商工業等の経済活動は、日野町の活性化のエネルギーです。

委員会では各団体との意見交換を通じて現在抱えている問題を把握し、政策に反映すべく活動をいたします。

教育民生常任委員会

町民に寄り添う施策の充実を

委員長 佐々木 求

私達の委員会は医療・介護・保健、さらに保育から教育、関係団体も広くて本場に幅が広い。そして具体的な課題が多く意見の幅も広いですが、こうした状況でも何より住民によりそい、議会の良識を発揮していきたいものです。とりわけ今年は子供達の教育をどう進めていくのかが問われますが、課題に正面から向き合って頑張りたいと思います。

議会広報常任委員会

わかりやすく、伝わる広報誌

委員長 金川 守仁

議会だよりは、年4回の定例会後に発行します。議会活動の内容を分かりやすく伝えるために委員全員が知恵を出し、読んでいただける広報誌づくりをまいります。皆様との「意見交換」「問題共有化」など、積極的に現場に出かける活動をさせていただきます。

住民の声に応えるために

令和元年 第二回 臨時議会

(5月23日開催)

日野町議会

新組織決定

議長・副議長と各常任委員会が改選され、新たな議会構成が決まりました。

(詳細 P2～P4)

条例改正

○町民税

・ふるさと納税制度を見直し、寄付金税額控除の適用対象を特例控除対象寄付金とする。

・住宅ローン控除額において所得税から控除しきれない額について個人住民税から控除する。

・児童扶養手当の支給を受け、前年の合計所得金額が135万円以下であるひとり親に対し、個人住民税を非課税とする。

国民健康保険税条例の改正

て環境性能割の税率を1%軽減する。

○課税限度額の引き上げ

・基礎分限度額を58万円から61万円へ引き上げ。

○減額措置に係る軽減判定所得の基準額の見直し

・低所得者に対する軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得の拡大。

一般会計

497万円を追加(総額31億9364万円)

○プレミアム付商品券事業

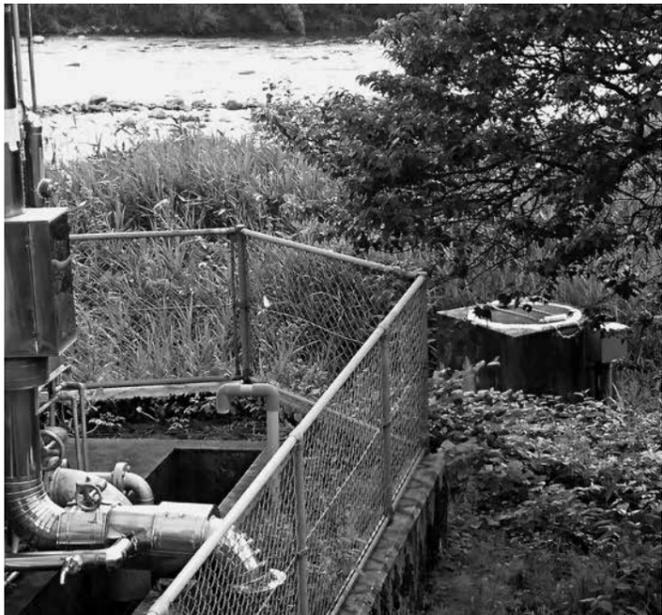
・事務費361万7千円
・繰出金135万4千円
(簡易水道特別会計へ)



○バス
・小型バス1台を取得する。

○軽自動車税

・グリーン化特例を令和3年度まで延長。令和4年度から2年間対象を電気自動車等に限定。
・令和元年10月1日から令和2年9月30日までの間に取得した軽自動車について



根雨地区浄水場取水ピット

簡易水道特別会計

135万4千円を追加
(総額7324万1千円)

人事

○議会選出監査委員の選任
・山形克彦氏を選任。

○根雨地区浄水場取水ピット

高上げ工事構造計算、日野川の流水計算等の専門的資料の作成費用追加

・測量設計等委託費135万4千円

○教育委員の任命

・頭本元文氏の任命に同意。
(任期は令和元年6月5日～5年6月4日まで)
・松田暢子氏の任命に同意。
(任期は令和元年7月1日～5年6月30日まで)

令和元年6月定例議会開催 第4回定例会

令和元年第4回定例会は会期を6月11日から6月17日までの7日間とし、一般会計補正予算と特別会計補正予算1件、条例の一部改正4件などを原案通り可決、また副町長人事の同意等を行いました。一般質問では6人の議員が活発な意見を展開しました。

一般会計補正予算

7350万5千円を追加し、
総額を32億6714万8千円とする。

補正予算

○プレミアム付商品券事業
2575万円



・本年10月からの消費税率
値上げへの対応として、
低所得者・子育て所帯向
けのプレミアム商品券販
売等を行う。

根雨地区浸水対策事業

495万円

・雨水を安全に河川に配水
する仕組みを構築するた
め、詳しく調査し排水施
設の基本設計を行う。



オオサコ谷川の水害工事

斜面崩壊復旧事業

1144万円

・門谷、金持地区の斜面復
旧の工事費が確定したた
め、その不足分を計上す
る。



金持水害現場

生活保護支援

123万2千円

・生活保護法改正に対応す
るためのシステム改修
費。

林業センター一般管理

868万8千円



・老朽化した施設の屋根の
修繕費。

特別会計補正予算

○日野町介護保険特別会計

・3万2千円を追加し、6
億9708万7千円とす
る。

人事

○副町長の選任

・音田守氏の副町長選任に
同意。

質疑・討論

質疑

○農業委員会委員の任命に
同意

長住 武美氏
頭本 佳苗氏
松本 洋一氏
高田 昭徳氏
谷口 勇氏
(いずれも任期3年)

○消費税の引き上げに合わ
せた低所得者層等の介護保
険料のさらなる軽減につい
て

議員 いつから適用される
か。対象人数は何名か。
課長 時期は7月以降に調
整する。現時点での対象者
627名全員に直接通知す
る。

○農業委員の任命につき、
認定農業者等が委員の過半
数を占めることを要しない
場合の同意について

議員 現在、日野町には認
定農業者は3名しかいな
い。それを認識していれ
ば、いずれ3名の確保が難
しくなる事態が生じること
は予測されたはずではな
いか。町長の姿勢を問う。

討論

反対討論 この件に対する
町長の姿勢に本気度が見ら
れず、納得できない。

賛成討論 難しい状況にあ
りながら、認定農業者も行
政も互いに尽力されている
ことがうかがえるので、同
意する。

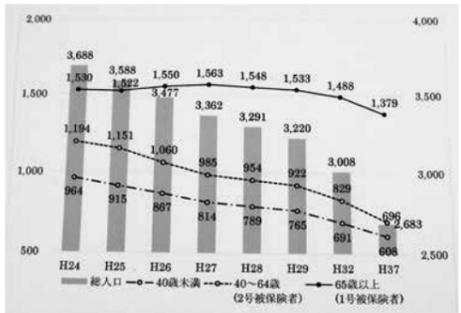
・採決の結果、賛成多数で
同意。

特別委員会の設置

○時代に対応した地方分権
を先導するため、情報公
開・住民参加・議会機能強
化などを調査研究するた
め、議会改革推進特別委員
会の設置を提案し、全員一
致で承認された。

意見書の提出

○新たな過疎対策法の制定
に関する意見書を、内閣総
理大臣以下5名の関係大臣
宛に提出することとした。



日野町人口構成グラフ

同意

○農業委員会の委員の任命
については、規定により認
定農業者が過半数を占める
こととされているが、次期
農業委員の候補者に占める
認定農業者の割合が過半数
に満たないことから、過半
数要件の例外を適用するこ
とについて同意した。

(日野町農業委員の定数は
5人)

○高校生への就学支援につ
いて

議員 対象となる者の範囲
と支援開始の時期は。
課長 日野町に在住してい
る者であれば、日野高校生
だけでなく町外の高校、専
門学校等に通う生徒も対象
とする。本年4月に遡って
実施する。



日野高校



松尾 信孝議員

いつまで続く副町長不在

答 今議会の最終日に提案したい

議員 地方自治法の趣旨は、地方自治体は副町長を置いて補佐を受けながら町政を運営する事と読める。つまり、必要に応じて置くのではなく、置くことが前提であり、置かない場合にのみ議会の同意が必要である。しかるに本町では副町長の不在が就任後一年半近く、任期の三分の一の間続いています。明らかに違法の状態であると思うが、どう考えられますか。



日に至っている。置くという姿勢を続けてきたことを斟酌していただきたい。

なぜ地元にごだわるのか

議員 地元の出身者にごだわる理由として、地元への精通、郷土愛において「地



ようやく埋まった副町長の席

元民に勝るものはない」と言われた。これは、実は差別につながる重大な発言ではありませんか。特定の地域、特定の背景の人を、あることの優劣に結びつけることの危険性について、理解されていますか。

方が大勢いらつしやいます。その方々が郷土愛において決して劣るものではないと思っていられしやるのであるなら、「勝るものはない」と言うくだけだけでも取り消されたらどうでしょうか。

町長 そのつもりで言っていないので撤回するつもりはありません。
(注)、最終日、副町長に音田守氏の選任が議会に提案され、同意された)

町長 決してそのような意味で言ったわけではありません。

議員 職員の中にも日野町出身でなく、在住でもない

町長 決してそのような意味で言ったわけではありません。

議員 職員のうちにも日野町出身でなく、在住でもない

議員 今現在の災害復旧工事の進捗状況について伺います。

町長 昨年7月豪雨と台風24号による災害で土木施設災害15件で完成工事7件。農地用施設災害7件で工事完了6件。林業用施設被害9件で2件が完了。進捗率は13%です。また、自治会、関係者とも情報共有と連携をとり対応しております。

議員 まだ手つかずの災害現場が各地で見受けられます。実態把握されていますでしょうか。

町長 実態は把握していません。今後、各自治体とか関係団体との情報交換会などで情報収集が必要だと考えます。できるだけ現場との情報共有を心掛けてまいります。

災害復旧工事の進捗状況は

答 優先順位を定めて進めています



金川 守仁議員



町道濁谷一滝山線、斜面の崩落現場（石などが落ちてきて危険）

議員 町道の維持管理体制について、特に側溝清掃は豪雨の時に落ち葉などで詰まってしまう、排水障害となっている場所が多々あり道路崩壊につながります。

町長 町道の道路維持管理は補修などしていますが、側溝の状況はしていません。側溝の状況はしていません。側溝の状況はしていません。側溝の状況はしていません。

議員 各自治会などが緊急時に利用する仮避難所の実態を把握する必要があります。

町長 毎年実施している防災訓練時に場所の確認はしていますが、施設の詳細については各自治体にお任せしているのが実態です。あくまでも仮の避難所として認識しています。

議員 本年度の防災無線新システムの概要を伺います。

町長 無線設備の法令がかわり使用できなくなります。「デジタル同時報送システム」を想定しています。



町道の側溝管理状況の現状(堆積物で埋まっている)



安達 幸博議員

文化財を観光資源に

答文化財保護と観光の所管の一本化や計画書策定を検討する

議員 建造物、町並みの歴史認識と、文化財を観光資源に生かす考え方を尋ねます。

オシドリ観察、福よせ雛など連携した活用を考えて歴史文化を観光に繋げたいと思います。



オオサコ谷川改修工事

町長 鉄山師の近藤家住宅は、県指定文化財です。旧根雨公会堂は、国の登録有形文化財です。

議員 文化財保護や活用するための各種計画の策定が必要ではありませんか。

議員 県民の建物100選の旧山陰合同銀行根雨支店や長谷部信連ゆかりの延暦寺や搭の峰など、町の歴史をしるぶことが出来ます。

町長 文化財保護法改正は、町が文化財保存活用地域計画を定めると保護や観光に国から支援があります。計画策定は、教育委員会、観光担当課を含むプロジェクト



空から見る根雨の街並

クトチームを視野に入れながら、県とか大山町がされる文化財保護と観光を一つの課での取り組みを参考に検討して参ります。

令和2年度完成目指す

議員 3月に根雨の水路は分水路等が必要ではないかと問いました。その後の対応をお聞きます。

町長 分水路等の基本設計

委託料を6月補正予算に計上しました。

課長 豪雨時に流入する雨量計算等を行い、排水の基本設計を行います。9月補正で実施設計費を計上したいと思っています。

町長 緊急自然災害防止対策事業債を活用し、本年と令和2年度の二カ年で工事を完成したいと思います。



中山 法貴議員

公約評価に 住民アンケートを

答検討・研究する

議員 暮らしている人たちが住んで良かったと思える町、将来を担う子どもたちに誇りを持って引き継げる町づくりという町長の公約ですが、達成度を調べ町民へ説明するためには、住民アンケートが必要なのでは。

議員 町長はもう4年のうち2年を迎えようとしています。今のところ、数値データは必要ないということでしょうか。

町長 町民の皆さんの考え方や評価を知る上でアンケートは一つの有力な方法だと思えますが、達成度の評価は今後考えていきたいと思えます。

町長 成果が見えるまで時間がかかるものもあります。アンケートは時期尚早と思いますが、いろいろ考えたと思います。検討、研究



庁舎内に設けてある町への提案箱

移住者の定住目標率

議員 移住・定住の促進には、移住者の増加はもちろん、定住率の向上が大事です。移住者が定住する率の目標値と実際の結果を教えてください。

町長 特に目標を定めているわけではありません。実



町が奨励するお試し住宅

際の定住率については正確な調査は行っていません。

議員 町民へ目標達成度を説明する必要があるのでは。

町長 目標値のようなものは非常に重要なものだと考えます。置くように努力したいと考えます。



梅林 敏彦議員

小規模高齢化集落の再生を

答 県のモデル事業に積極的に手を挙げる



集落の暮らしの維持は緊急の課題

議員 現在、日野町にはどれだけの小規模高齢化集落（戸数20戸未満・高齢化率50%超）がありますか。

町長 本年5月1日時点で15自治会。10年前は5自治会でした。集落維持の施策が本当に必要ななっていると感じます。

議長 そこで、昨年から採

用された集落支援員2名の活動内容をお聞きします。

課長 百歳体操の世話などをしていただいています。

ただし、この事業の本来の目的は、外部から指導者的な方を入れて地域力を上げていくことなのですが、現段階ではそこまで到達しておらず、これこそが今後の課題であると考えています。

議員 現在の支援員さんは他の仕事をしながらの兼業です。これを専業にし、本来の目的に沿う体制を作るお考えはありませんか。

町長 専任でやっていただける方がおられたら追加の予算を考えればよいので、まずは支援員を確保するところから進めていきたい。

議員 先日の日本海新聞に

『県は小規模高齢化集落の再生のためのモデル地区を指定する』という記事が載りました。この事業に日野町の集落が指定されるよう、積極的に手を挙げるべきだと考えますが、町長の見解をお聞きします。

町長 集落の再生に乗り出すために積極的に手を挙げていきたいと考えています。



体操の後で集落支援員さんとおしゃべり

り組みたい。

議員 前回の引き上げで一世帯25万円支出が増えた、今度は倍の負担が強いられます。10月実施に反対し、行政サービスにかかわる部分では、税の転嫁はしないという基本的な態度を持つべきでは。

町長 消費税の引き上げは、住民の暮らしがその分圧迫されます。現役世代に過度な負担を押し付けないためには、高齢者を含めて国民全体で広く負担する税の在り方はやむをえない。行政サービスにかかわる使用料や手数料に安易に消費税を転嫁すべきで



はないと考えるが、簡易水道事業・公共下水道事業・集落排水事業は消費税課税事業者であり納税の義務を負い、税率が変更になればそれに従い徴収する必要があります。



佐々木 求議員

国保の決算は

答 医療費の急激な上昇もない



ひのちやくば
野町役場
けんこうふくしか
健康福祉課(日野町福祉事務所)
〒689-4503
とつとけんひのぐんひのちようわう
鳥取県日野郡日野町根雨101
でんわ
電話 (0859)72-0334

議員 国保の決算状況はどうですか。1億円を越す部分の基金の活用で還元していくと言われたが、その実績と見通しはどうか。課税根拠の数字の見直しも言われたが、進捗状況を尋ねます。

町長 歳入4億700万円、歳出4億円。基金の取り崩しもなく動向が気になると

ころです。医療費の急激な上昇も今のところない。予防活動は現在、国保被保険者だけでなく全町民を対象にしているので基金を取り崩すのではなく、健康講座や食育教室の開催、いきいき百歳体操の推進、地域医療学講座、公民館・図書館と連携した取り組み。早期発見・早期治療で医療給付費を抑え、各種予防活動に取

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

声かけ合って明るい地域づくり

舟場自治会・舟場公民館

舟場は、76世帯174人（7月1日現在）が暮らす町内でも比較的大きな集落です。

町交付金を活用し 伝統行事を継続

舟場集落では、古くから自治会活動、公民館活動が盛んで、伝統となっている

行事も多くあります。

現在では、町の地域活動支援交付金を活用して3つの行事に取り組んでいます。「舟場自治会運動会」は、

毎年6月の第1日曜日に開催しており、今年は6月2日に42回目となる運動会を開きました。

4つの班対抗で、ボウリングや水入れ競争、花吹雪など、おなじみの競技を行います。高齡化のためか、参加人数が年々少なくなってきたのが悩みでした。

しかし今年、子育て世代の若い舟場出身者が多く帰省していたために子どもたちの参加が増えたほか、5月に舟場地内にオープンした「どんぐりハウス」に入居されている皆さんの参

加もあり、総勢70人近くという近年にない参加者数で、運動会後の懇親会も大いににぎわいました。

産業文化祭では 元氣な舟場をPR

秋には、「敬老の集い」「産業文化祭」を開きます。

10月の「敬老の集い」では、集落の75歳以上の皆さんを招き、心づくしの料理と演芸で、地域みなでご長寿と健康をお祝いしています。

11月の「産業文化祭」は、地元産のもち米を使ったもちつきやぜんざいの販売をはじめ、とれたて野菜や焼き芋、イカ焼きなどの販売のほか、住民の趣味の作品展示などを通じて、地域の元氣な姿を発信しています。

文化祭には、地域外からの来場者も多く、もちや焼き芋を楽しみにしているリピーターもあり、売り切れが出るほどの盛況ぶりです。皆さん、今年もどうぞお出かけください。



舟場運動会

舟場公民館では、毎年末に「館報ふなば」を発行し、これらの事業報告のほか、住民の声なども寄稿いただき、情報共有にも力を入れています。

そのほかの自治会活動（草刈りや井出さらい、神社清掃など）も継続して行っており、また近年は「防災部」も結成、安心・安全な地域づくりにも取り組んでいます。

全国的な人口減少の波を避けて通ることは難しいとは思いますが、住民同士工夫し合い、声を掛け合いながら、明るい地域づくりを心がけています。

（舟場自治会長 三好忍）

あとがき

令和元年、新しい元号と共に議会も改選され、新たな時代の始まりとなりました。

つい近年、昭和から平成に変わったと感じていたのは私だけでしょうか。

令和の時代が今を生き抜く私たちにやさしい時代であることを願ってやみませぬ。

道端で見つけた一輪の花に「きれいだね」と、ひと声かけられる余裕を持ち、この時代と付き合っていきたいと思います。

（金川守仁記）

議会広報常任委員会

委員長 金川 守仁

副委員長 梅林 敏彦

佐々木 求

中原 信男

松尾 信孝

中山 法貴